

管路付属設備（仕切弁、消火栓及び空気弁）の耐震継手化について

管路付属設備の耐震性能の向上を図るため、新たに設置する仕切弁、消火栓及び空気弁の継手構造等を下記のとおり変更します。

1 仕切弁

- 「耐震継手付き仕切弁」の使用を基本とする。
- やむを得ず「フランジ形仕切弁」を使用する場合は、フランジ継手部に「フランジ固定金具」を設置する。

2 消火栓及び空気弁

- 配水管口径が75ミリメートルから200ミリメートルまでのGX形ダクタイル鋳鉄管に使用する消火栓及び空気弁用のT字管は「GX形フランジレスT字管」とする。
- 上記以外で使用する消火栓及び空気弁用のT字管は「フランジ付きT字管」とし、フランジ継手部に「フランジ固定金具」を設置する。また、T字管から分岐後1つ目の補修弁の1次側のフランジ継手部には「フランジ補強金具」を設置する。
- 消火栓及び空気弁本体とのフランジ継手部には「フランジ固定金具」を設置しない。

3 変更する時期

(1) 上下水道局が発注する工事

令和5年4月1日単価世代より適用

(2) 承認工事

令和5年4月1日より適用

【お問い合わせ】

横須賀市上下水道局 技術部 水道管路課

TEL 046-823-0684

FAX 046-822-4292

E-mail wsf-ws@city.yokosuka.kanagawa.jp

管路付属設備の耐震継手化について

- 上下水道局発注工事 令和5年4月1日単価世代より適用
- 承認工事 令和5年4月1日より適用

令和5年3月
横須賀市上下水道局

管路付属設備の耐震継手化の概要

■ 仕切弁の耐震継手化

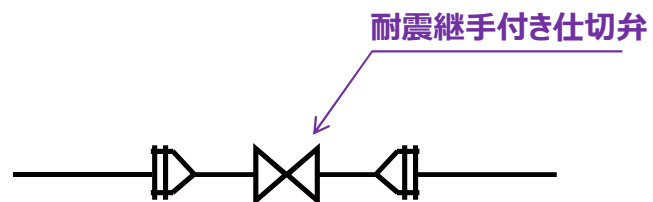
✓ 耐震継手付き仕切弁の使用を基本とするが、やむを得ずフランジ形仕切弁を使用する場合は、フランジ固定金具を設置する。

■ 消火栓、空気弁の耐震継手化（GX形ダクタイル鋳鉄管の場合）

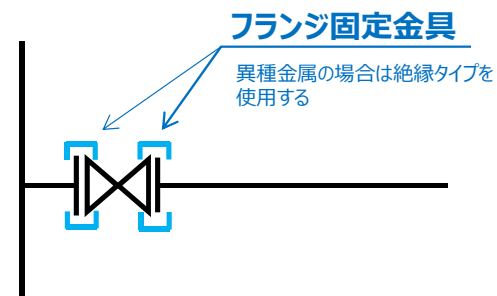
口径	標準使用材料（消火栓・空気弁の本体の材料は除く）
75×75	GX形フランジレスT字管
100×75	
150×75	
200×75	
300×75	GX形フランジ付きT字管+補修弁+ 補強金具×1 ※浅埋の場合
300×100	
400×75	GX形フランジ付きT字管+補修弁×2+フランジ短管+ 補強金具×1+固定金具×2
400×100	
500×75	NS形フランジ付きT字管+補修弁×2+フランジ短管+ 補強金具×1+固定金具×2
500×100	

仕切弁の耐震継手化の標準図

■ 耐震継手付き仕切弁の場合

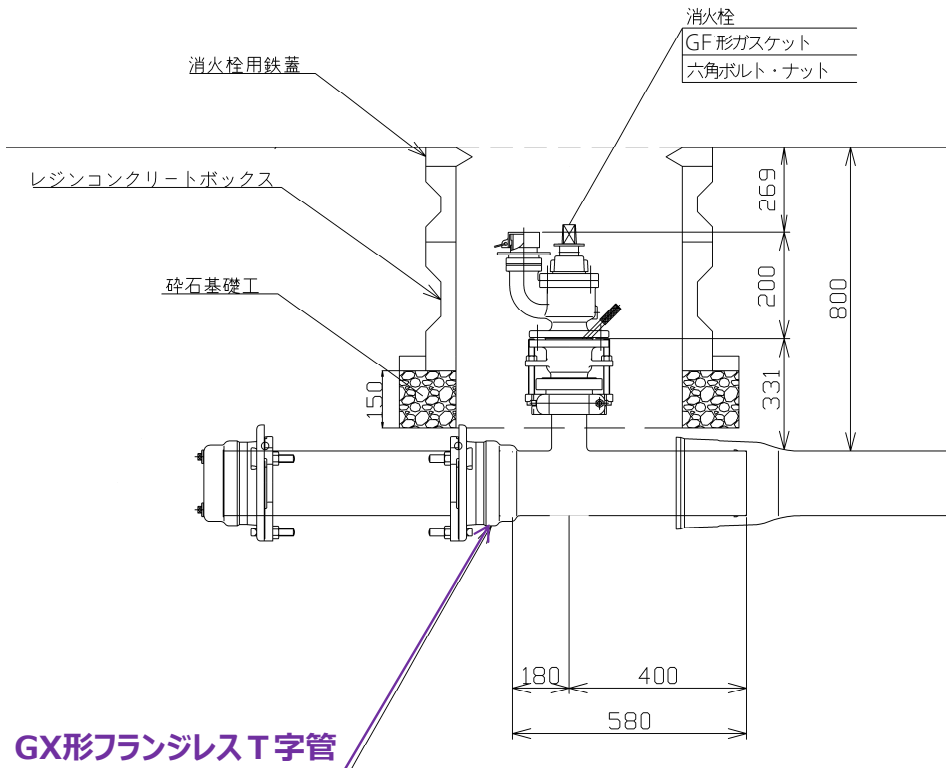


■ フランジ形仕切弁の場合

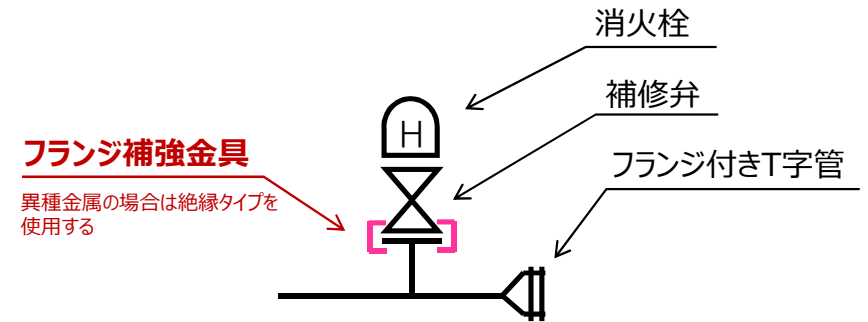


消火栓（空気弁）の耐震継手化の標準図

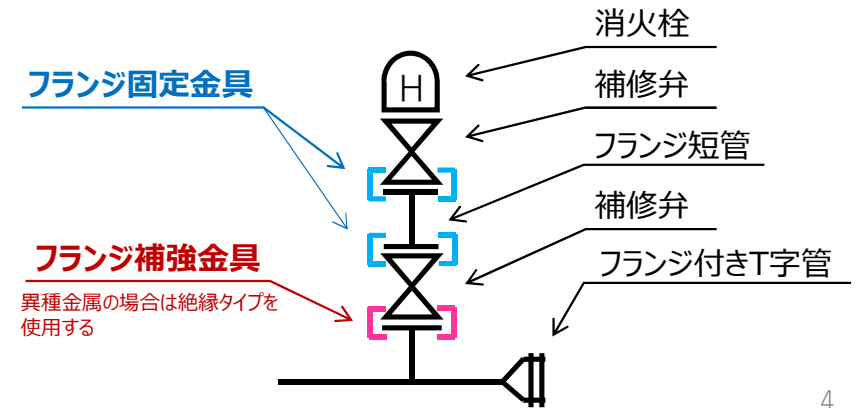
■ 消火栓（Φ75~200、土被り0.8m）の場合



■ 消火栓（Φ300、土被り0.8m）の場合

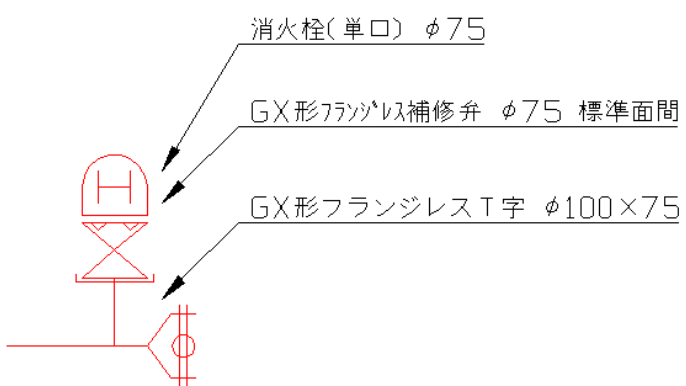


■ 消火栓（Φ400以上、土被り1.5m）の場合



しゅん工図（配管図）の作成方法

■ GX形フランジレスT字管の例



■ GX形フランジ付きT字管の例

